

PALTEK

(証券コード:7587)

2018年12月期 第3四半期 決算説明資料

2018.11.5 (月)

© 2018 PALTEK Corporation. All rights reserved.



本資料取り扱い上の注意点

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したもので、当社グループは、これらのリスク発生の可能性を認識した上で、発生の回避及び発生した場合の対応に努める所存であります。

なお、本資料においては、将来に関する事項が含まれておりますが、当該事項は当連結会計年度末現在において判断したものであります。

また、実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます。

- ① 国内エレクトロニクス業界の急激な景気変動や需要動向の変化
- ② 仕入先の代理店政策の見直しや再編等により取引関係の継続が困難となった場合
- ③ 不測の事態による当社グループの情報資産が流出した場合
- ④ 為替相場の急激な変動
- ⑤ 新規仕入先商品の立ち上がりの遅れが生じた場合
- ⑥ 顧客の日本国内での製品開発案件が更に海外へシフトし、当社グループの販売活動が及ばない地域へ移管された場合

- ① 2018年12月期 第3四半期
業績結果
- ② 2018年12月期 業績予想
- ③ 今後に向けた取り組み

1

2018年12月期 第3四半期 業績結果

第3四半期（累計）業績結果 サマリ

- 市場環境は自動車関連の産業機器は堅調だが、通信インフラは低調に推移
- 売上高は前年同期から減少するも、ほぼ想定どおりに推移
 - 通信市場の低迷、アナログ半導体メーカーとの契約解消が影響
- 営業利益は前年同期から減少するも、ほぼ想定通りに推移
- 経常利益・四半期純利益は、為替差損が大きく発生したことにより減少

連結業績結果

(百万円)	2017年第3四半期		2018年第3四半期		増減	
	金額	比率	金額	比率	増減額	増減率
売上高	24,821	100.0%	22,841	100.0%	△1,979	△8.0%
売上総利益	3,136	12.6%	2,835	12.4%	△300	△9.6%
販管費	2,444	9.8%	2,363	10.3%	△81	△3.3%
営業利益	691	2.8%	472	2.1%	△219	△31.7%
経常利益	759	3.1%	217	1.0%	△541	△71.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	504	2.0%	119	0.5%	△385	△76.3%
1株当たり四半期純利益	46.08円	—	10.93円	—	△35.15円	△76.3%

主な増減要因

- 売上高の減少は、半導体事業の減少による
- 売上総利益の減少は、売上高が減少したことによる
- 経常利益の減少は、営業利益の減少のほか為替差損および支払手数料の発生による

(百万円)	2017年第3四半期		2018年第3四半期		増減	
	金額	比率	金額	比率	増減額	増減率
半 導 体	23,579	95.0%	21,461	94.0%	△2,117	△9.0%
デザインサービス	1,103	4.4%	1,246	5.4%	142	12.9%
ソリューション	138	0.6%	133	0.6%	△5	△3.6%
売上高合計	24,821	100.0%	22,841	100.0%	△1,979	△8.0%

主な増減要因

- 半導体事業は、通信機器向けの特定用途IC、アナログ半導体が減少
- デザインサービス事業は、医療機器、通信機器向けが増加
- ソリューション事業は、乳幼児呼吸見守りシステム、IoTゲートウェイが増加したものの、医療機関向け停電対策システムが減少

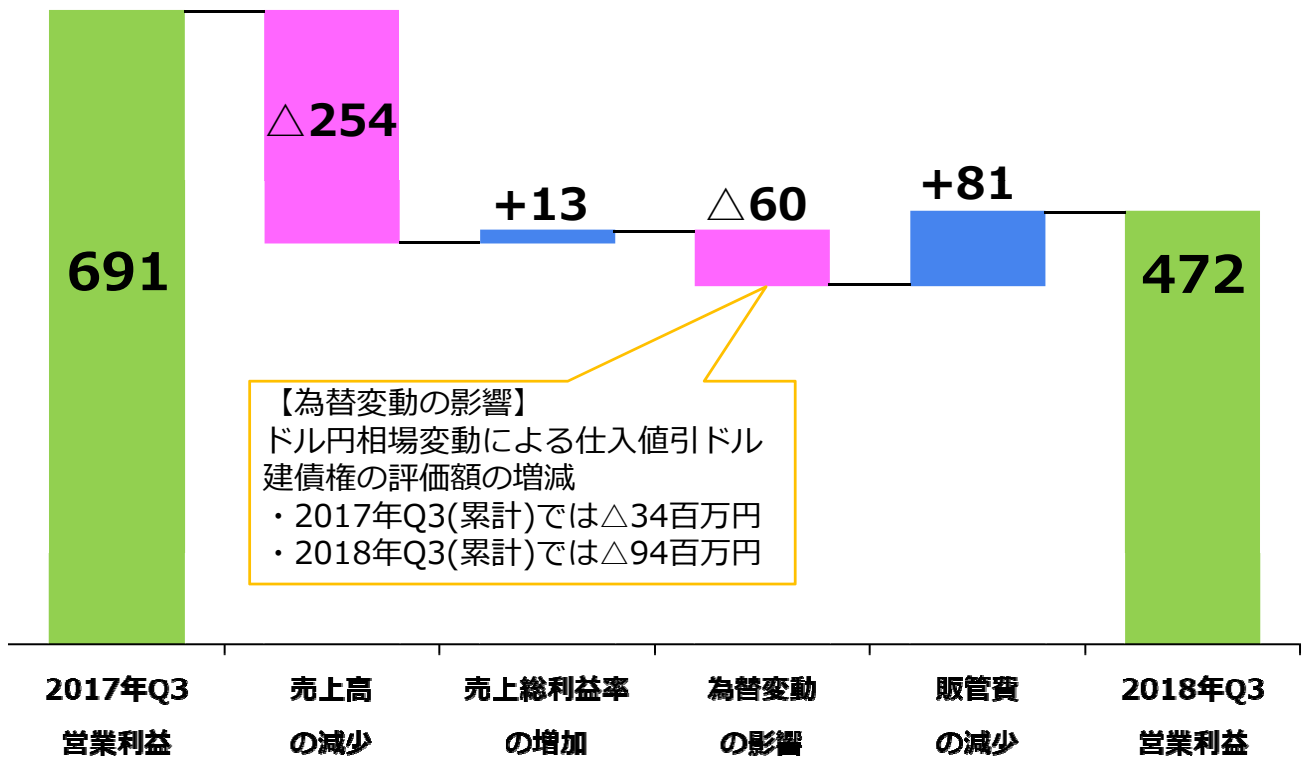
■ 売上総利益率の減少は、以下が要因

- ドル円相場により変動する仕入先に対して保有する仕入値引ドル建債権の評価額の増減等により売上総利益が、
2017年第3四半期では△34百万円（△0.1%分）
2018年第3四半期では△94百万円（△0.4%分）の影響があった

(百万円)	2017年第3四半期		2018年第3四半期	
	金額	対売上比率	金額	対売上比率
売上総利益	3,136	12.6%	2,835	12.4%
(うち為替の影響額)	△34	△0.1%	△94	△0.4%
売上総利益 (為替の影響を排除)	3,170	12.8%	2,930	12.8%

営業利益の増減分析

(単位：百万円)



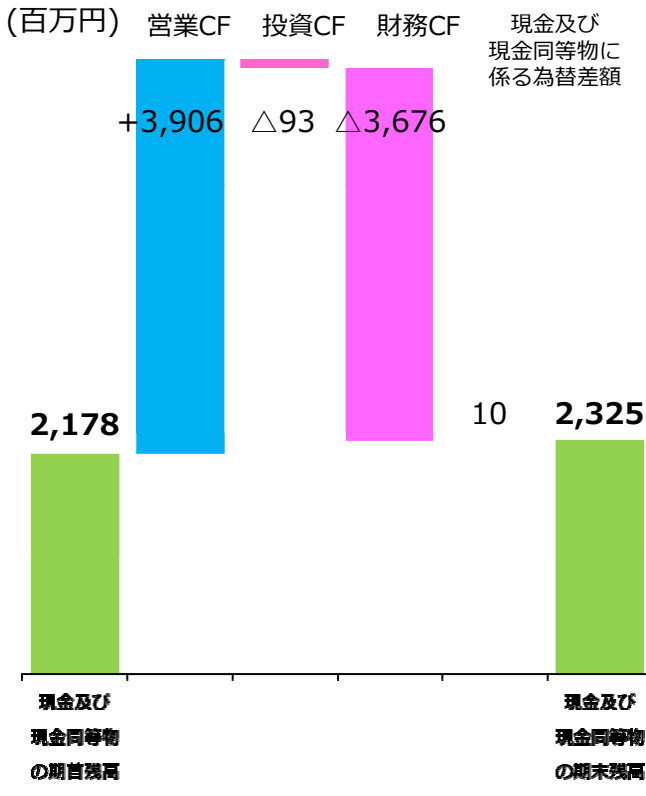
連結貸借対照表の状況

	(百万円)	2017.12	2018.09	増減額	主な増減理由
資産内訳	現金及び預金	2,178	2,325	146	
	売上債権	7,087	6,437	△650	
	商品	3,559	3,251	△308	
	その他流動資産	3,904	1,410	△2,493	未収入金が大幅に減少
	固定資産	450	496	46	
資産合計		17,180	13,921	△3,259	
負債純資産内訳	仕入債務	1,387	1,040	△347	
	短期借入金	5,030	1,510	△3,520	借入金返済を実施
	その他流動負債	999	1,643	644	
	固定負債	261	247	△13	
	純資産	9,501	9,478	△22	
負債・純資産合計		17,180	13,921	△3,259	



連結キャッシュ・フローの状況

2018年第3四半期のキャッシュフローの動き



(百万円)	2017年第3四半期	2018年第3四半期
現金及び現金同等物の期首残高	2,698	2,178
営業CF	△3,770	3,906
投資CF	△48	△93
財務CF	2,895	△3,676
現金及び現金同等物の期末残高	1,895	2,325

2018年第3四半期キャッシュフローの動き

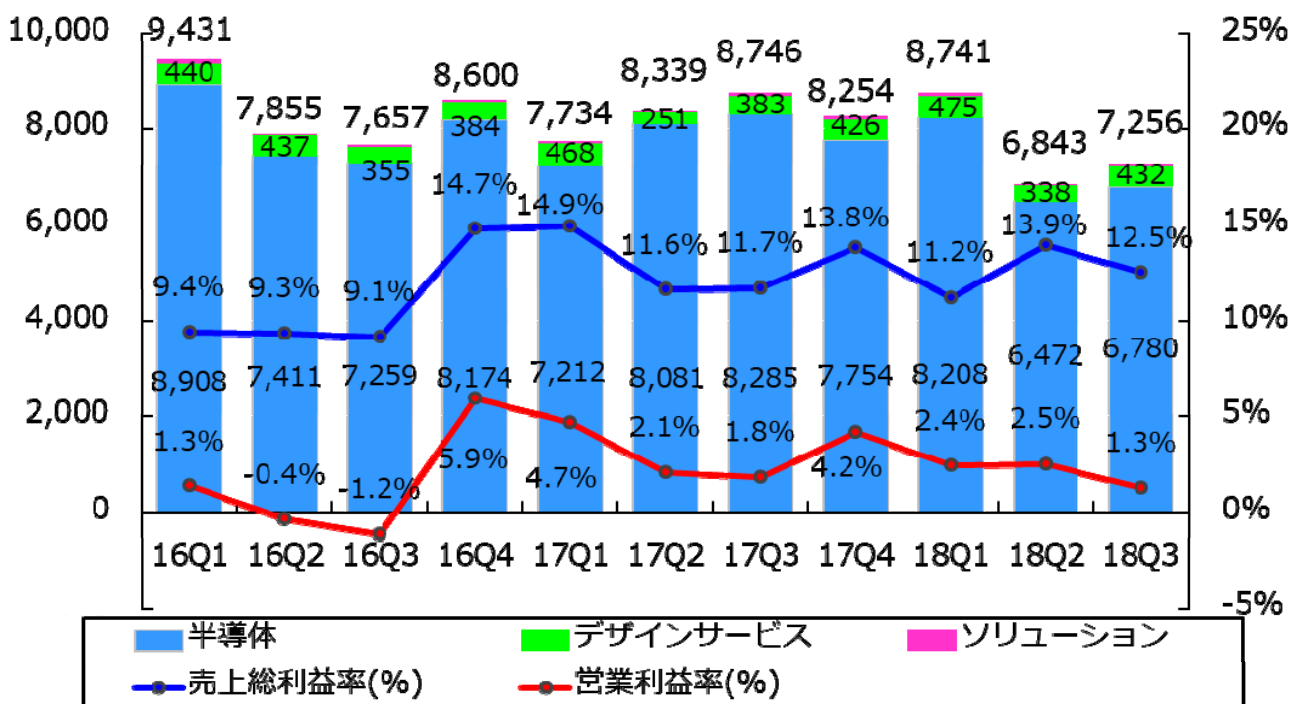
- 【営業CF】 税金等調整前四半期純利益の計上し、未収入金の減少等により収入
- 【投資CF】 投資有価証券、子会社株式を取得したこと等により支出
- 【財務CF】 配当金支払いを実施したこと、借入れの返済等により支出

© 2018 PALTEK Corporation. All rights reserved.

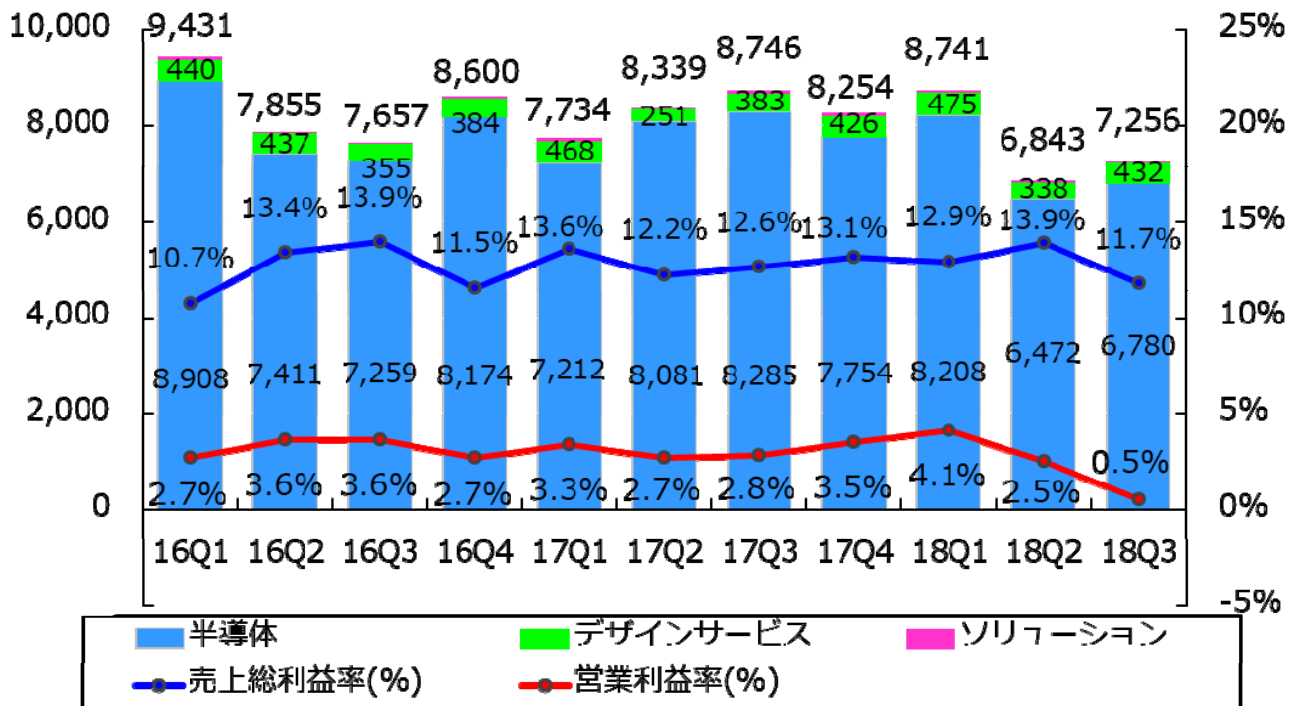


連結業績の四半期推移

(百万円)



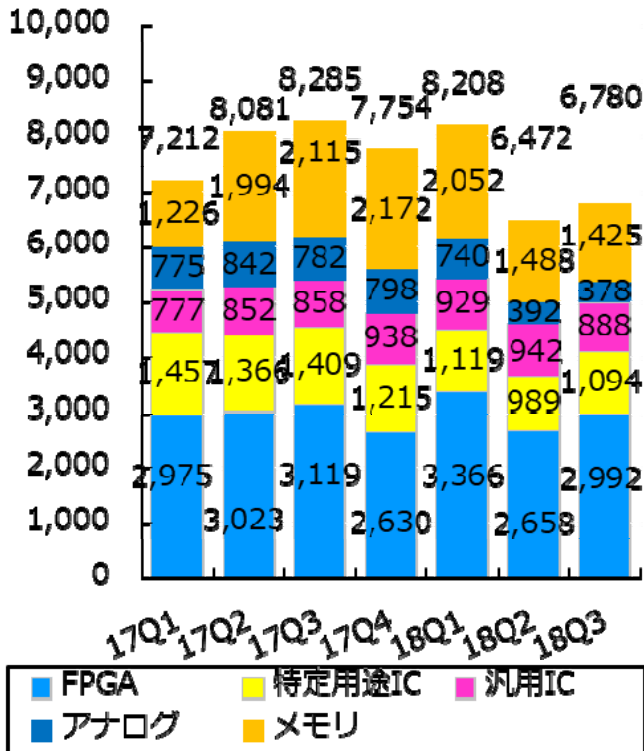
(百万円)



事業別の実績

半導体事業の状況（製品別）

(百万円)

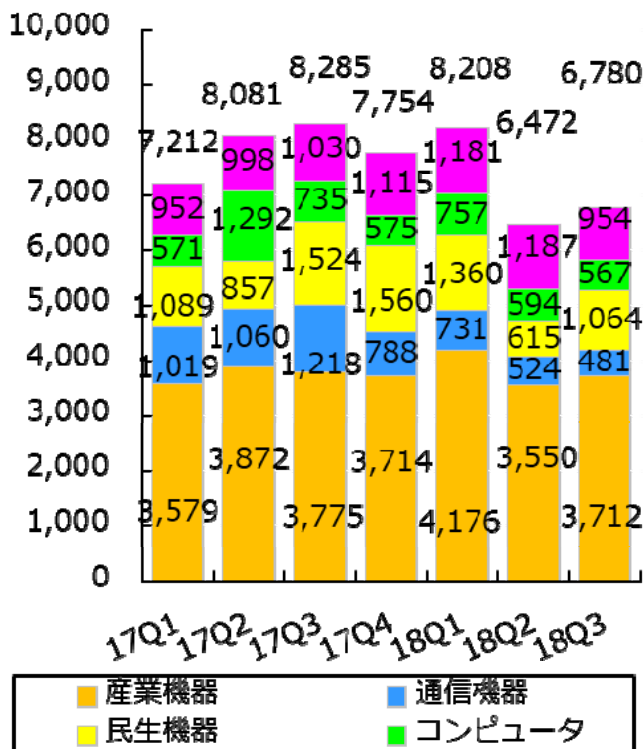


業績の推移

- F P G A
医療機器、放送機器向けなどが増加
- 特定用途 I C
ブロードバンド通信向けが減少するもPC向けのタッチパッド製品が増加
- 汎用 I C
ファクトリーオートメーション向けなどが減少
- アナログ
リニアテクノロジー社との取引終了により減少
- メモリ
産業機器向けが減少

半導体事業の状況（用途別）

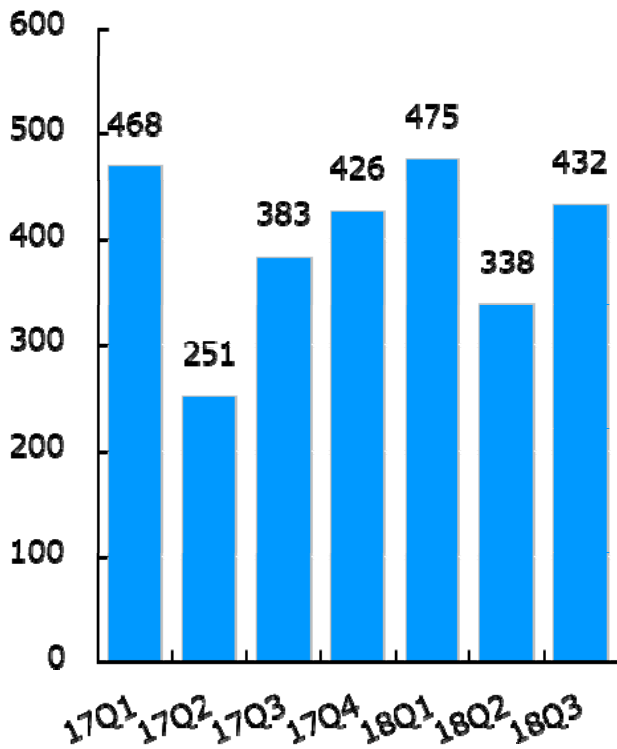
(百万円)



業績の推移

- 産業機器
医療機器、放送機器向けなどが増加
- 通信機器
通信インフラ向けが減少
- 民生機器
携帯情報端末向けが増加
- コンピュータ
スーパーコンピュータ向けが減少

(百万円)



業績の推移

- 通信機器、産業機器向けの案件が増加

2

2018年12月期 業績予想

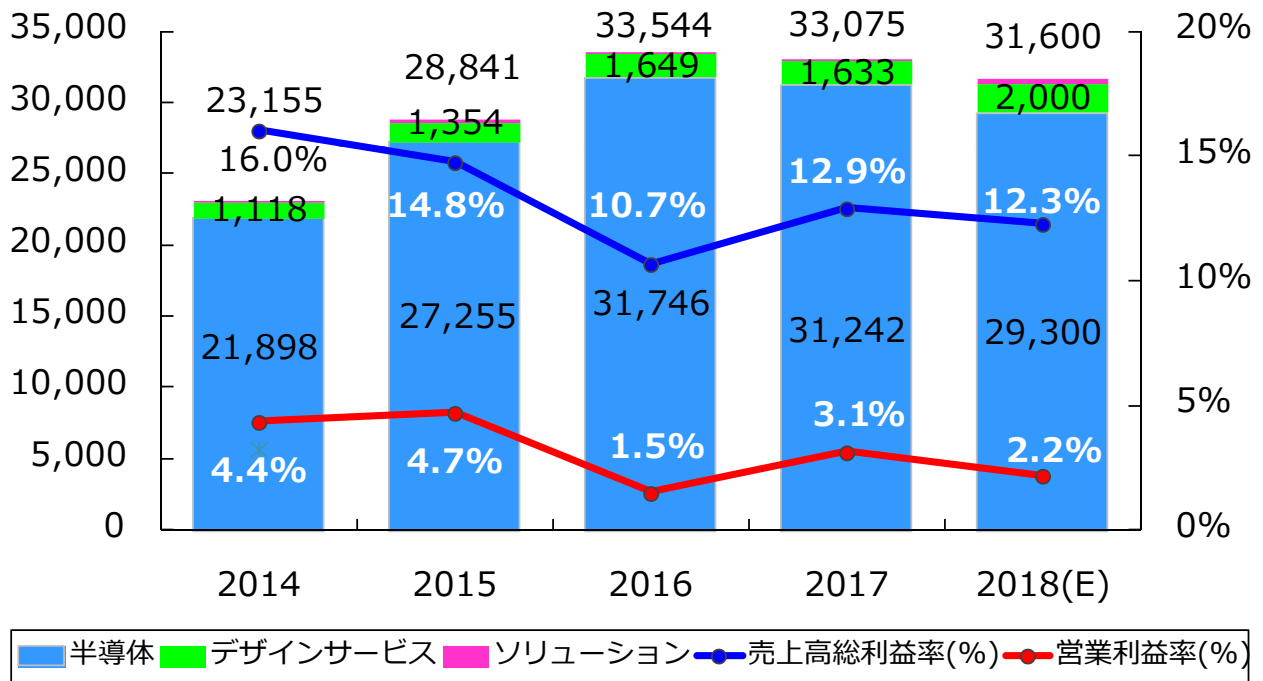
売上高、営業利益はほぼ想定通り推移しているものの、
経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益は想定を下回って推移

■ 今後の見通し

- 直近の市場環境悪化により、景気減退の可能性あり
為替に関しても変動要素あり
- 第3四半期（累計）までの売上高、営業利益は想定通り推移
- 経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は、
第3四半期までに為替差損183百万円が発生したことにより、
想定を下回って推移
- 不透明要素が多いため見通しは変更せず

(百万円)	2017年12月期 実績			2018年12月期 業績予想 (8月1日修正)			通期増減	
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	増減額	増減率
売上高	16,074	17,001	33,076	15,585	16,014	31,600	△1,475	△4.5%
売上総利益	2,116	2,158	4,275	1,931	1,968	3,900	△375	△8.8%
売上総利益率	13.2%	12.7%	12.9%	12.4%	12.3%	12.3%	-	-
販管費	1,583	1,654	3,237	1,549	1,670	3,220	△17	△0.5%
営業利益	533	504	1,037	381	298	680	△357	△34.5%
営業利益率	3.3%	3.0%	3.1%	2.4%	1.9%	2.2%	-	-
経常利益	563	521	1,084	227	242	470	△614	△56.7%
当期純利益	370	332	703	133	166	300	△403	△57.3%

(百万円)



3

今後に向けた取り組み

■ 経営方針

- ソリューションサプライヤーとして社会的意義ある価値を創出し、ニーズとシーズを照らし合わせた、付加価値の高い製品提案、ソリューションの開発を推進
- 収益性の高い経営を目指す

■ 各事業の方向性

ソリューション事業

培ってきた技術力をベースに、最終製品レベルのソリューションを開拓、開発、販売

デザインサービス事業

画像処理・FPGA設計などコア技術の強みを活かし、ODMビジネスを拡大、収益性を向上

半導体事業

成長市場にフォーカスし、安定的に収益を上げていく事業ポートフォリオを構築

【事業環境】

- **AI、ビッグデータ、IoTの活用により半導体市場が拡大**
 - さまざまなモノがインターネットに接続され、IoT関連やデータセンター向けの半導体市場が成長
- **車載分野およびその周辺市場は堅調**
 - 自動運転、電気自動車(EV)が更に発展

取り組み

- **AIソリューションの構築**
- **IoT、データセンター、車載周辺市場などの成長分野に提案力を強化**
(Xilinx、Micron、NXP、Microchip、MPS)

■ AI ソリューション構築のため協業開始

- 医療分野、産業分野、通信分野を中心に展開中
- AI搭載モジュール販売開始（新規顧客開拓）



アクセラレーション開発キット

■ アクセラレーション開発キット販売

- “より高性能”、“より低レイテンシ”を実現
- 動画配信、ビッグデータ、AI関連へ展開



XILINX : RFSoc

■ 新製品提案/新規案件獲得

- アナログ搭載 “RFSoc” の提案力強化
- 無線、テスト/計測、レーダー等の分野に最適



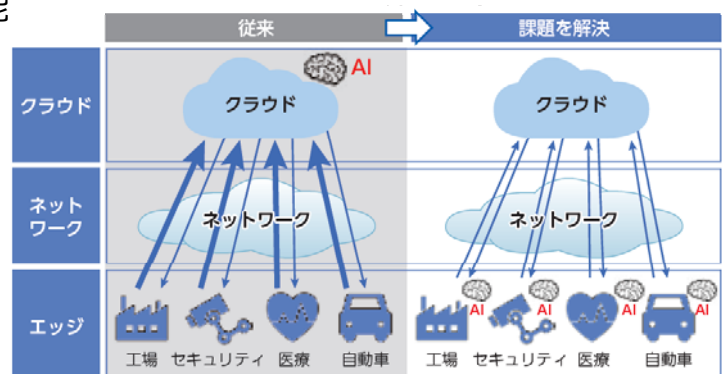
■ FPGA+マルチ商材提案

- XILINX+（Micron/Memory、MPS/Power）



■ エッジ向けAIソリューションを開拓

- IoTにおいて、エッジコンピューティングへのニーズが高まる【3つの課題】
 - クラウドとの通信処理で遅延が発生
 - セキュリティ面でのリスク
 - インターネット環境が不安定だと処理停止
- エッジコンピューティングでのAI活用においては、FPGAが最適
 - システム環境の変化に柔軟に対応が可能
 - リアルタイム処理が可能
 - 低消費電力
 - 長期供給が可能



■ エッジ側での 画像処理 AI (in FPGA)

- ディープラーニング・ソリューション

- 【用途】 分類 / 検出 / セグメンテーション

一般的ディープラーニング技術を小型 / 高速 / 低電力



- スパースモデリング・ソリューション

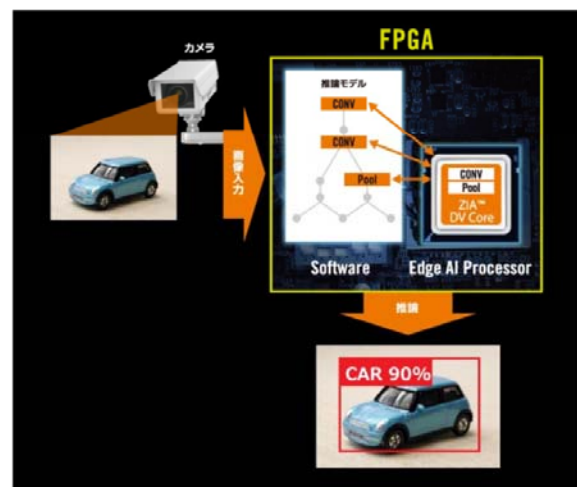
- 【用途】 特徴抽出 / 移動体検出

小さなアルゴリズムでディープラーニングと比べ、学習量が少なく済む



<AI推論処理に特化したAIプロセッサ>

ハードウェアを意識する必要なく、
学習モデルをAIモジュールで動作可能。
FPGAで実現のために、AI機能進化に
応じてハードウェアアップデート可能へ



ディープラーニングの推論処理をプロセッサに組み込む
FPGAにより小型化、高性能化、低消費電力化を実現

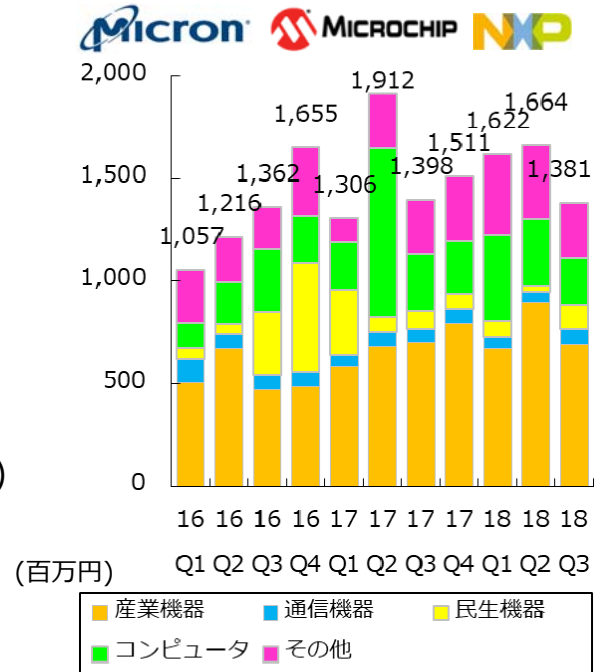
■ 成長市場へ新規案件活動に注力

- データセンター
- AI / IoT
- 産業機器
- 医療機器

■ マルチ商材提案力 (新規案件獲得強化)

■ 営業効率化の強化 (例 : Memory + Power + Interface)

主要3製品の売上推移



(海外向け情報端末用メモリの売上高は除く)

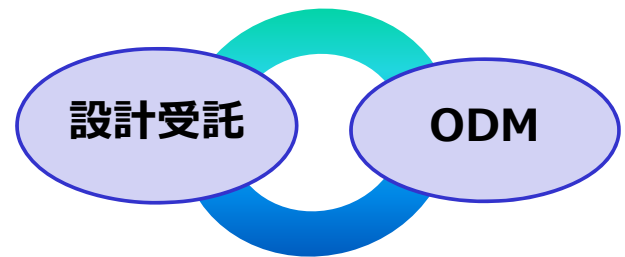
© 2018 PALTEK Corporation. All rights reserved.

デザインサービス事業について

■ 製品実現に向けた提案から設計・試作・評価・量産までを設計・製造受託

■ 事業構成

- 設計受託
- ODM
- 開発サポート製品販売



提供するサービス



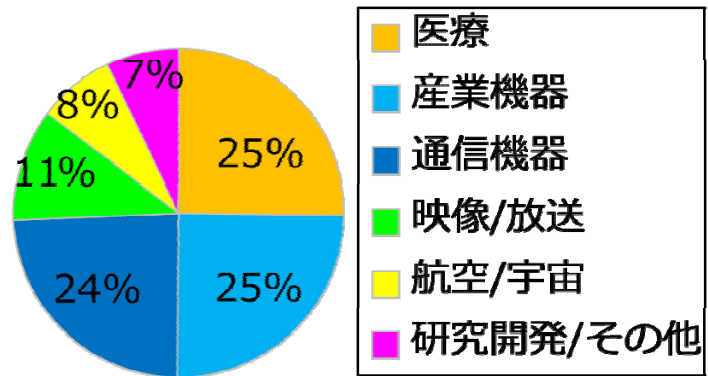
強み

※ ODM (Original Design Manufacturing) : 発注元企業のブランドで販売される製品を設計するだけでなく製造も行うこと

■ 医療機器、通信機器での設計受託・ODMが堅調

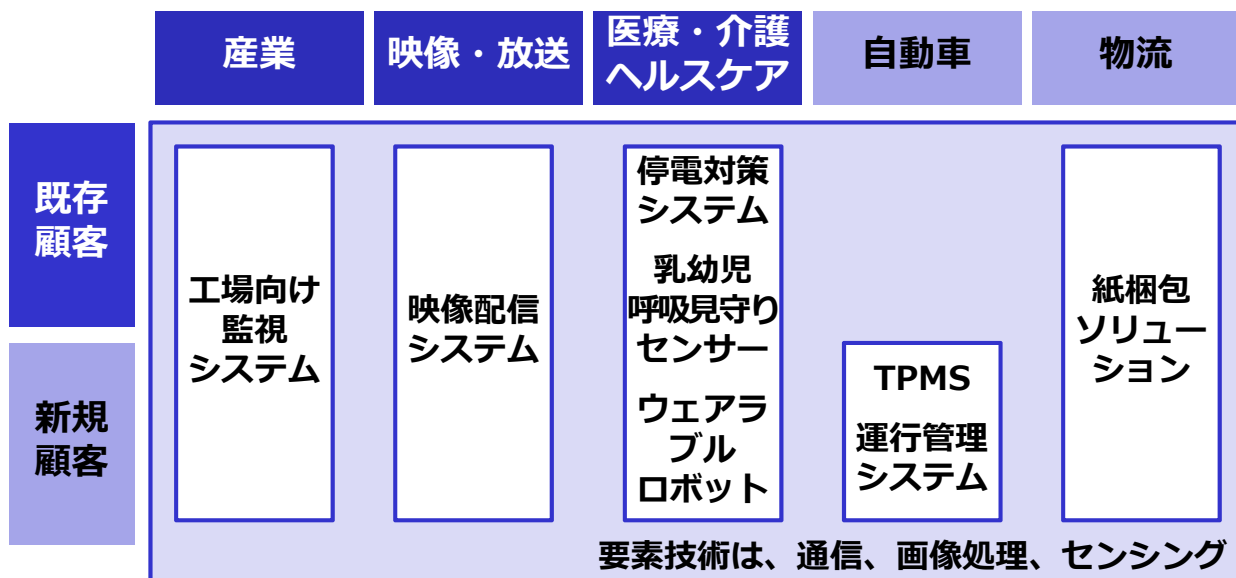
- 医療
 - 診断装置
- 産業機器
 - 半導体製造装置
 - 産業用ロボット
- 通信機器
 - 無線通信インフラ
- 映像/放送機器
 - 4K/8K関連機器

用途別売上構成（2018年Q3）



■ ソリューション事業の狙い

- 市場拡大が見込まれる分野に注力したソリューションを発掘・開発
- 将来的にIoTやサービス等の付加価値の可能性のあるソリューションを展開



- 不安定な伝送路でも映像データを伝送できる秘匿性の高い4K対応 H.265/HEVCコーデックシステムを開発

【特長】 高画質、低遅延、セキュアな画像伝送を実現



【SRTプロトコルについて】

SRTプロトコルはHaivision社が開発し、2017年4月にオープンソース化された、不安定なネットワーク環境に強く、高品質のまま映像を伝送できる次世代の伝送規格。

SRT普及を推進するSRTアライアンスには、Microsoft社なども加盟。



- 欧州最大の放送機器展「IBC 2018」に出展

- 開催日時 : 2018年9月14日(金)～18日(火)
- 会場 : オランダ アムステルダム

- SRT搭載 4K対応H.265/HEVCコーデックシステムなどを展示

- SRT搭載コーデックシステムを展示していたため、多くの方に来場いただき、海外展開の足掛かりを増やす

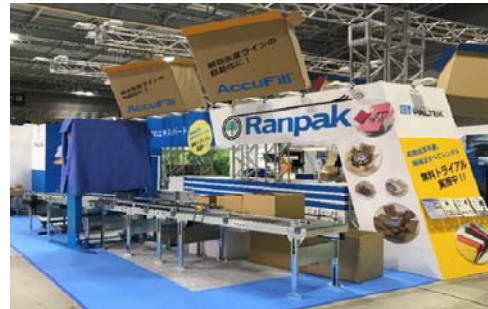


■ ビジネスの位置づけ

- 成長すると見込まれる物流分野への事業展開
- 生態系への影響懸念により脱プラスチックが進む中、プラスチック系緩衝材に代わる紙緩衝材活用による物流コスト低減提案

■ 国際物流総合展に出展

- 開催日時：2018年9月11日（火）～14日（金）
- 自動紙緩衝材梱包システムのアジア初の動態展示
- 1300人以上に会場いただき、多くの引き合いをいただく



■ ビジネスの進捗状況

- トライアル（累計）：19社（29台）
- 採用（累計）：9社（60台）大手物流会社、通販会社など

35

© 2018 PALTEK Corporation. All rights reserved.

■ ビジネスの位置づけ

LIQUID

- 女性の社会進出を支える「子ども子育て支援新制度」の一環で、乳幼児保育を支援するため、新規分野へ展開
- 当社で開発・製造面も請け負う

■ 乳幼児呼吸見守りシステム「IBUKI ONE」に加え、保育施設向け午睡チェックアプリ「IBUKI NAP」を提供開始

- うつぶせ寝による事故防止策の一環で、乳幼児の睡眠中、5分または10分毎に呼吸や体の向きを目視確認して、午睡チェック表に記録
- 保育士の精神的負担を軽減、作業負担を大幅に削減

■ 販売プロモーション

- 保育施設向けに全国展開している会社なども活用し、販売実施



36

■ ビジネスの位置づけ

- 介護、建設、農業分野などでの腰痛を予防することで労働環境の改善を支援

■ ウェアラブルロボット「マッスルスーツ®」販売開始

- 電気、センサー、モーターを使わず空気圧式の人工筋肉で、重労働時の身体にかかる負担を軽減
- 充電などの必要がないため、継続的に使用可能



■ ターゲット市場

介護



建設



農業



参 考 資 料

為替変動に関する影響

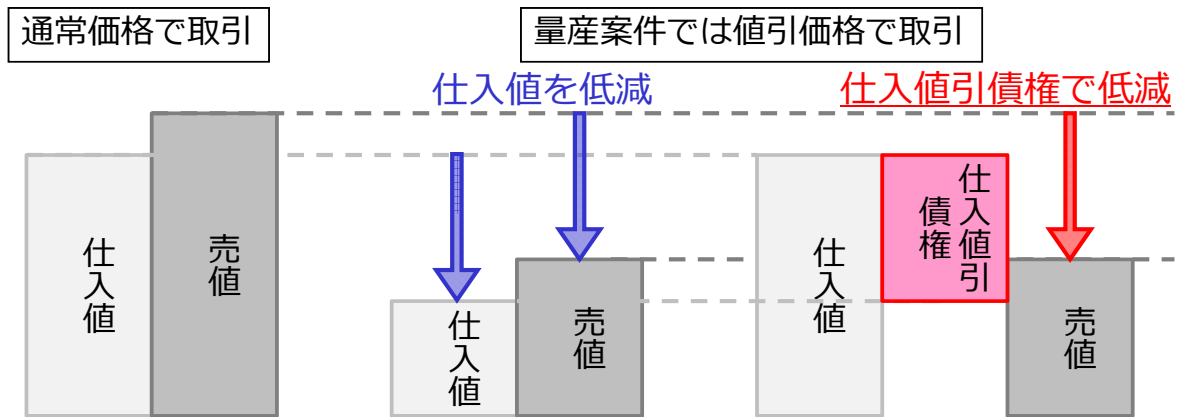
為替変動による影響について

- 為替変動により当社グループの利益は以下の4点で影響を受けます
 - ① 仕入値引ドル建債権の為替変動による影響
 - ② 調達在庫の為替変動による影響
 - ③ 決済時のドル調達レート変動による影響
 - ④ ドル建売掛金入金時のレート変動による影響

為替変動による影響の発生要因①

【仕入値引ドル建債権の為替変動による影響】

- 当社が仕入先に対して保有する『仕入値引ドル建債権』が、為替レートの変動により評価額が増減することで、業績に大きな影響を与える
- 仕入値引ドル建債権について：
 - 量産案件によっては、通常価格よりも低い価格での販売を要請されることがある
 - その場合、仕入先との間で仕入価格の低減交渉を行う
 - その実現方法は、「仕入値自体の低減」と「仕入値引債権の付与による低減」



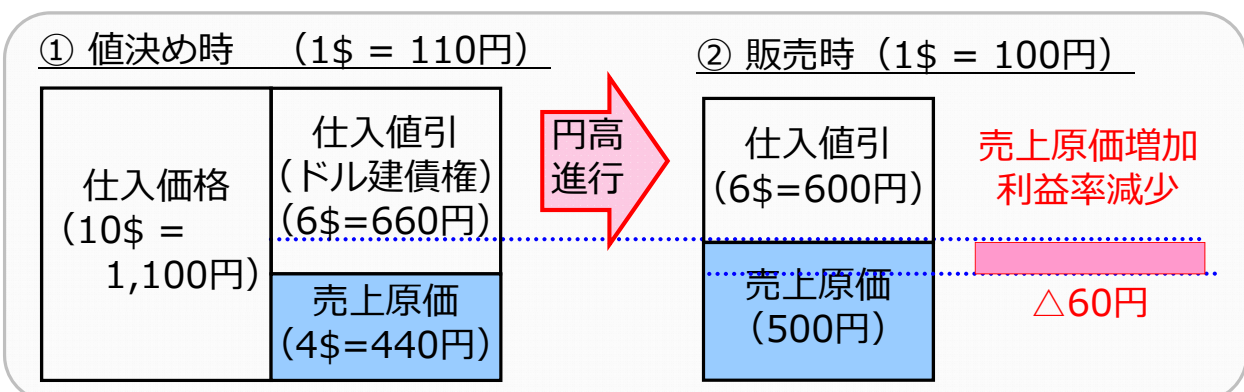
41

© 2018 PALTEK Corporation. All rights reserved.

急速な円高進行による仕入値引債権の評価額減少

- 仕入値引債権の評価額の増減は、値決め時と販売時の為替レートの差により生じる
- そのため、急速に円高が進行すると、為替レートの差が大きくなるため、仕入値引債権の評価額が大幅に減少
- これにより、売上原価が増加し、売上総利益が減少

例：仕入れ価格10ドルの製品を販売する際の売上原価の変化



42

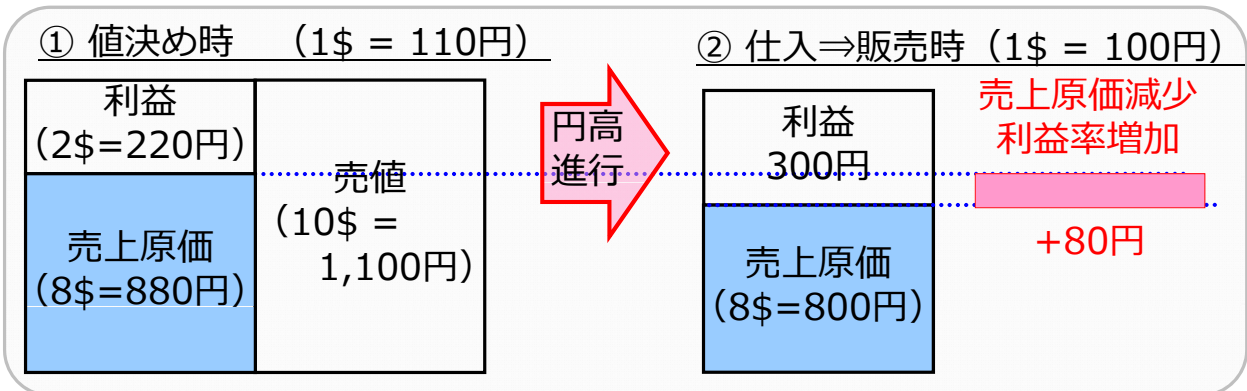
© 2018 PALTEK Corporation. All rights reserved.

為替変動による影響の発生要因②

【調達在庫の為替変動による影響】

- 海外から仕入れたドル建の製品において、為替レートが円高に進行することにより、売上原価が減少し、売上総利益は増加

例：仕入れ価格10ドルの製品を販売する際の売上原価の変化



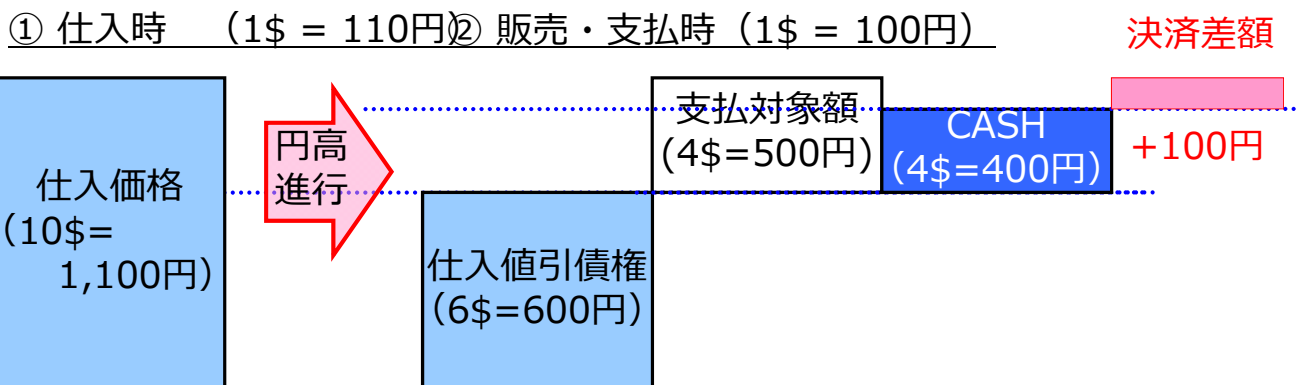
43

© 2018 PALTEK Corporation. All rights reserved.

為替変動による影響の発生要因③

【決済時のドル調達レート変動による影響】

- 支払を行う際に円高に進行していた場合、ドルを調達する金額が少なくなるため、決済差額が生まれ、為替差益を計上することとなる
- 一方、円安に進行した場合は、為替差損を計上することとなる



44

© 2018 PALTEK Corporation. All rights reserved.

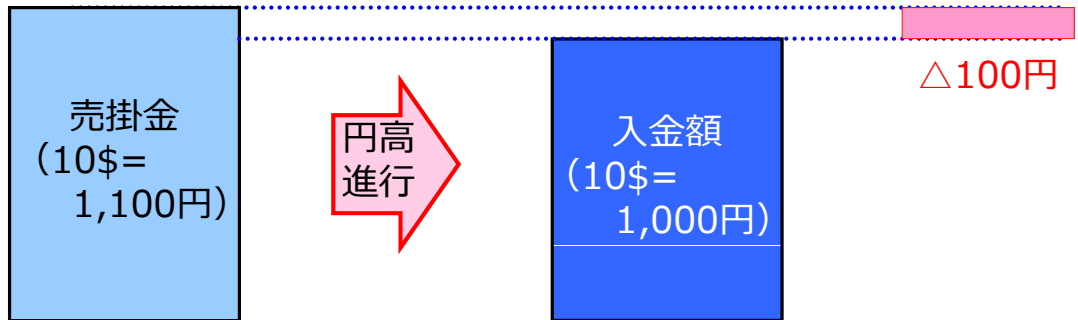
為替変動による影響の発生要因④

【ドル建売掛金入金時のレート変動による影響】

- ドル建売掛金の入金がある場合には、円高に進行するとマイナス、円安に進行するとプラスの影響が発生する（営業外の為替差損益）
- 当社はこのリスクを限定的にするために、為替予約を行っている

① 販売時 (1\$ = 110円)

② 入金時 (1\$ = 100円) 決済差額



為替変動の影響額（2018年第3四半期）

■ 売上総利益への影響額

- 為替レートが円安に進行したことにより、為替変動の影響額はプラス方向に

(単位：百万円)	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4	18Q1	18Q2	18Q3
為替レートの変動 (円)	117→ (110)→ 111	111→ (108- 114)→ 112	112→ (114- 107)→ 112	112→ (114- 110)→ 112	113→ 106	106→ (111)→ 109	111→ 113
為替変動の影響 (売上総利益)	102	-52	-83	56	-148	3	52
仕入値引債権の評価額変動の影響	128	-156	-62	109	-338	-8	307
調達在庫の為替レート変動の影響	-26	104	-21	-53	189	11	-256

■ 営業外損益への影響額（期末評価替の影響は含まず）

- 買掛金支払時のレート変動の影響は、為替レートが円安に進行したことによりマイナス方向に（売上総利益への影響と、おおよそ相殺関係となる）

(単位：百万円)	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4	18Q1	18Q2	18Q3
買掛金支払時のレート変動の影響 (営業外)	36	46	54	-24	88	-19	-89

- 売掛金受取時のレート変動の影響額は、為替レートが円安に侵攻したことによりプラス方向に（為替予約実施のため変動影響は縮小されている）

(単位：百万円)	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4	18Q1	18Q2	18Q3
売掛金受取時のレート変動の影響 (営業外)	25	-29	-34	12	-74	-25	41

(百万円)	2017年12月期 実績			2018年12月期 業績予想			通期増減	
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	増減額	増減率
半導体	15,239	16,040	31,334	14,681	14,618	29,300	△2,034	△6.5%
FPGA	5,999	5,750	11,749	6,025	5,874	11,900	150	1.3%
特定用途IC	2,824	2,624	5,448	2,109	1,840	3,950	△1,498	△27.5%
汎用IC	1,630	1,797	3,428	1,871	1,878	3,750	321	9.4%
アナログ	1,618	1,580	3,199	1,133	866	2,000	△1,199	△37.5%
メモリ	3,221	4,287	7,508	3,541	4,158	7,700	191	2.5%
デザインサービス	719	810	1,530	814	1,185	2,000	469	30.7%
ソリューション	60	150	211	89	210	300	88	42.0%
売上高合計	16,074	17,001	33,075	15,585	16,014	31,600	△1,476	△4.5%
営業利益	533	504	1,037	381	298	680	△357	△34.5%

開示区分	内容説明
半導体事業	半導体及び関連製品の販売、技術支援
FPGA	ザイリンクス社のFPGAやSoCなどを中心とするソリューション
特定用途IC	特定用途に特化した半導体を中心とするソリューション (例：通信向け、インタフェース向け、携帯端末向け等)
汎用IC	NXPセミコンダクターズ社、マイクロチップテクノロジー社等の汎用ICを中心とするソリューション
アナログ	アナログ半導体を中心とするソリューション
メモリ	マイクロンテクノロジー社等のメモリを中心とするソリューション
デザインサービス事業	受託開発、ODM/EMS/OEM
ソリューション事業	最終製品レベルでのソリューション提案を実施 自社製品（ハードウェア、ソフトウェア、システム）の 開発・販売



以下の担当までお問い合わせ下さい。

株式会社PALTEK

柴崎 由記 (IR担当)

〒222-0033

横浜市港北区新横浜2-3-12 新横浜スクエアビル

TEL : 045-477-2072

FAX : 045-477-2012

E-mail : ir@paltek.co.jp